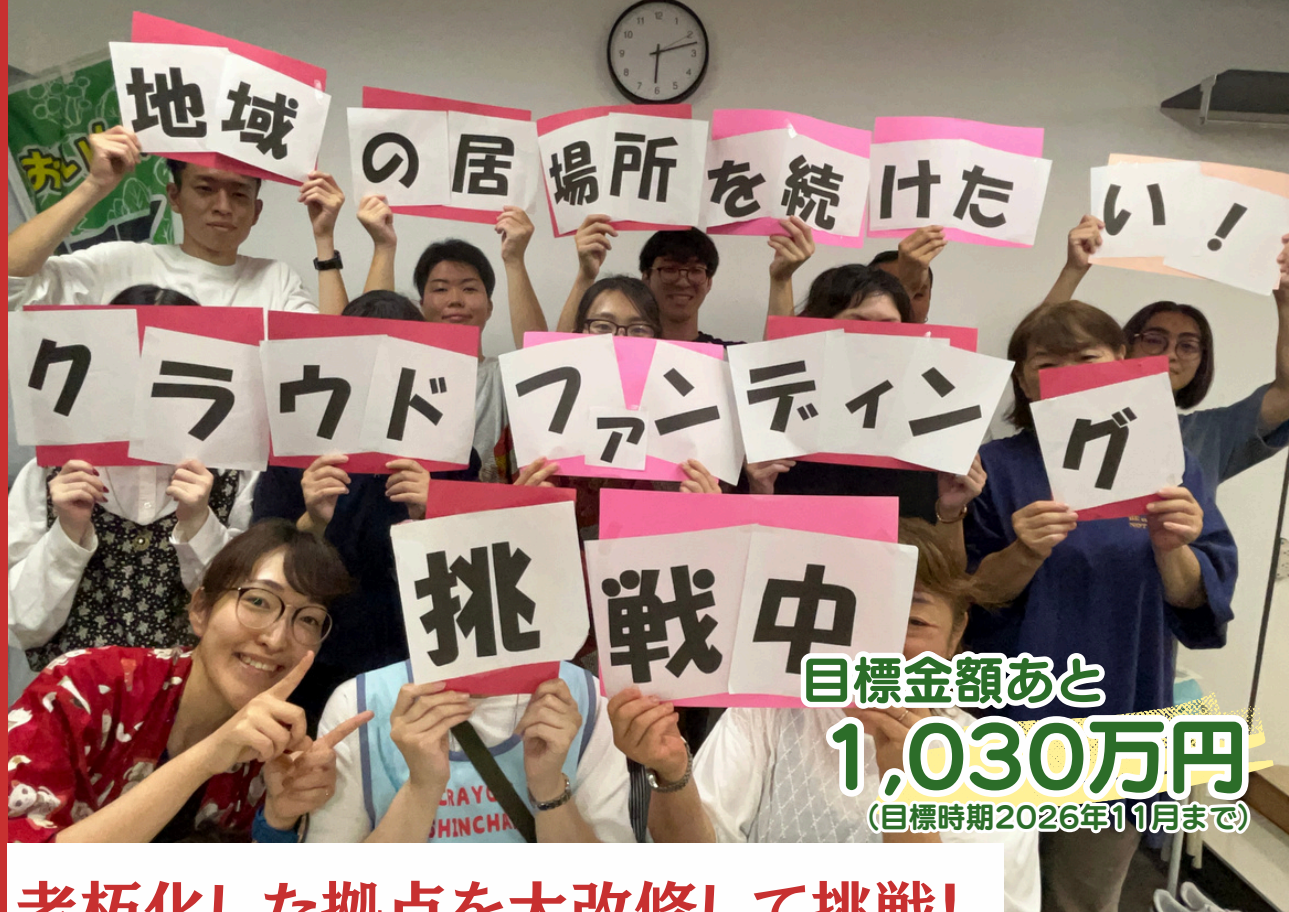


ご支援お願い致します



目標金額あと
1,030万円
(目標時期2026年11月まで)

老朽化した拠点を大改修して挑戦！

多様・多世代みんなでつくる
コミュニティ・カフェ&地域の居場所

こどもたちが“わが子”を連れて帰って来れるように…

私たちは、支え合いのまちづくりのために
地域の居場所、こども食堂、フードバンク等
さまざまな事業を展開しています。

その拠点は築50年を超えるレトロな建物。
抜けそうな床、水漏れする排水管、剥がれた
壁と天井、ガタつく段差と狭くてぶつかる台所。



危険と不安がいっぱいでカフェはもちろん、居場所を続けるためにも
大改修が必要…。でも、この場所で、この先何十年も続けていきたい。

そして、こどもも大人も高齢者も、障がいあっても外国人でも、
誰もが繋がり笑い合い、ゆるやかな役割を持てる居場所を作りたい。

**覚悟を決めて大改修工事を行いました！
費用のご支援を募っております！**

裏面をご覧ください

恩おくりHPはこちらから



<https://www.on-okuri.net/>

特定非営利活動法人恩おくり

[住 所] 〒069-0843 北海道江別市大麻扇町3番地の16

[問合せ] ☎080-9279-5251 ✉ npo.onkuri@gmail.com



こどもだけじゃない、誰にでも必要な「居場所」

自分を認められ、気楽に過ごし、必要とされ笑い合える場所は、誰もが求めているはず・・・



家でも学校や職場でもない、何者でもない“自分”でいられる場所
そんな「居場所」はいくつになってもどんな立場でも必要な場所

地域の居場所「恩ちゃん家」は小さな商店街「大麻扇町商店街」の
空き店舗でこども、若者、大人、高齢者、障がいのある人や外国人など
さまざまな人の笑顔あふれる集いの場として2022年12月に始まりました

建物の老朽化により、継続危うく・・・

誰にでも気軽に来てもらい、安心して過ごしてもらいたい
その思いとは裏腹に、老朽化した建物で危険な箇所も多く、安心安全、
衛生的にすべての方の居場所として継続するには課題も非常に多かったです



活動の発展と継続のために...

こどもたちが大人になって、自分の子連れて帰って来れる場所
おじいちゃんおばあちゃんになっても立ち寄りホッとできる場所
ふらっと入ってコーヒーを飲みながら、誰かとお喋りできる場所
誰もがゆるやかに地域で役割を持てる場所。これを実現するのが
令和8年夏に開始を目指す「多様・多世代協働コミュニティ・カフェ」

人から受けた優しさを他の人に送る「恩送り」を次世代へ・・・ 安心して暮らし続けられる最高の地域資源モデルを目指します！



理事長
岩本 希(37)

優しさこそ最強の資源です

誰もが安心して暮らし続けるために最も必要なことは、
互いを認め、優しさを送り、支え合うことだと考えています。
そんな簡単なことがめちゃくちゃ難しい現代ですが、**誰かが始め
りゃ世界は変わる！**と思い、大学講師を辞めてNPOを始めまし
た。資本主義の溝を埋めるのは見返りのない優しさです。
優しさの循環こそ未来に続く幸せを作ると証明したいです。

▶ご支援お願い致します！

北洋銀行 野幌中央支店

普通預金 7245699

特定非営利活動法人 恩おくり 岩本 希

※他にも様々なご支援の方法があります。

ホームページをご覧ください(表面QRコードから)



副理事長
森田弘之 (73)

若い世代への恩送りを

長年住み慣れた町を離れたくない人は少なく
ないはず。高齢になると様々なことを諦
めがちですが、この取り組みは**高齢者の役
割が重要**で、若者たちに想いを繋ぎながら
共にまちづくりを行える喜びがあると確信
しています。いつまでも**元気に現役で！**



副理事長
小島利佳 (54)

笑顔で過ごせる居場所に

10代から様々なボランティア活動をしてき
ました。多くの人とお話しする中で**笑顔で
過ごすこと**の難しさ大切さを改めて感じて
います。何気ない日常や様々な体験、いろ
いろな人との関わりを通して、**こどもも
おとなも若者も**、笑顔あふれる居場所に！



理事
中村潮音 (24)

誰かの居場所になりたいくて

大学院で居場所について研究し、居場所の
少なさや居場所感のなさに課題を感じてい
ます。この取り組みが、その解消につなが
っていると思っています。**私も、あなたも、誰か
の居場所となる**、そんなあたたかな連鎖を
生む一端を担いたいと思っています。

こどもだけじゃない、誰にでも必要な「居場所」

自分を認められ、気楽に過ごし、必要とされ笑い合える場所は、誰もが求めているはず・・・



家でも学校や職場でもない、何者でもない“自分”でいられる場所
そんな「居場所」はいくつになってもどんな立場でも必要な場所

地域の居場所「恩ちゃん家」は小さな商店街「大麻扇町商店街」の
空き店舗でこども、若者、大人、高齢者、障がいのある人や外国人など
さまざまな人の笑顔あふれる集いの場として2022年12月に始まりました

建物の老朽化により、継続危うく・・・

誰にでも気軽に来てもらい、安心して過ごしてもらいたい
その思いとは裏腹に、老朽化した建物で危険な箇所も多く、安心安全、
衛生的にすべての方の居場所として継続するには課題も非常に多かったです



活動の発展と継続のために...

こどもたちが大人になって、自分の子連れて帰って来れる場所
おじいちゃんおばあちゃんになっても立ち寄りホッとできる場所
ふらっと入ってコーヒーを飲みながら、誰かとお喋りできる場所
誰もがゆるやかに地域で役割を持てる場所。これを実現するのが
令和8年夏に開始を目指す「多様・多世代協働コミュニティ・カフェ」



人から受けた優しさを他の人に送る「恩送り」を次世代へ・・・
安心して暮らし続けられる最高の地域資源モデルを目指します！



理事長
岩本 希(37)

優しさこそ最強の資源です

誰もが安心して暮らし続けるために最も必要なことは、
互いを認め、優しさを送り、支え合うことだと考えています。
そんな簡単なことがめちゃくちゃ難しい現代ですが、**誰かが始め
りゃ世界は変わる！**と思い、大学講師を辞めてNPOを始めまし
た。資本主義の溝を埋めるのは見返りのない優しさです。
優しさの循環こそ未来に続く幸せを作ると証明したいです。

▶ご支援お願い致します！

北洋銀行 野幌中央支店

普通預金 7245699

特定非営利活動法人 恩おくり 岩本 希

※他にも様々なご支援の方法があります。

ホームページをご覧ください(表面QRコードから)



副理事長
森田弘之 (73)

若い世代への恩送りを

長年住み慣れた町を離れたくない人は少なく
ないはず。高齢になると様々なことを諦
めがちですが、この取り組みは**高齢者の役
割が重要**で、若者たちに想いを繋ぎながら
共にまちづくりを行える喜びがあると確信
しています。いつまでも**元気に現役で！**



副理事長
小島利佳 (54)

笑顔で過ごせる居場所に

10代から様々なボランティア活動をしてき
ました。多くの人とお話しする中で**笑顔**で
過ごすことの難しさ大切さを改めて感じて
います。何気ない日常や様々な体験、いろ
いろな人との関わりを通して、**こどもも
おとなも若者も**、笑顔あふれる居場所に！



理事
中村潮音 (24)

誰かの居場所になりたいくて

大学院で居場所について研究し、居場所の
少なさや居場所感のなさに課題を感じてい
ます。この取り組みが、その解消につなが
っていると思っています。**私も、あなたも、誰か
の居場所となる**、そんなあたたかな連鎖を
生む一端を担いたいと思っています。

こども食堂・地域食堂

みんなで作りみんなで
食べる、誰でも来ていいよ！
の、団らんデー
こどもだけでも参加OK
大家族みたいな食卓を♪

令和8年度開始！
世にも新しい
ホントの意味の
みんなのカフェ

健康ランチとお弁当

プロの主婦が作る家庭料理の
美味しいランチ♪多世代で運営
する珍し〜いカフェ！高齢者宅
に見守り弁当もお届けします！
ランチ前のワークショップも♪

懐かしメニュー

& 多国籍料理デー

扇町商店街の懐かし
人気メニュー復活デーや
外国人理解のための
多国籍料理デーも開催！

みんなでつくるみんなの居場所



コミュニティ・カフェ

担い手は、あなた

居場所開放や 集いの場

いつも何か催しのある
何も無くても立ち寄れる
自分の過ごし方ができる
みんなの居場所

チャレンジカフェ

誰かの「こんなコトやって
みたい」を実現する場所
カフェ体験やワークショッ
プなど住民主体の活動を
後押しします

コーヒータ임や お買い物

居心地の良い空間で
ちょっとお茶して一休み
お菓子や野菜、バザーなど
いつも何か楽しいものが
並びます

安心して暮らし
続けられる
支え合いの
拠点を
目指して...



NPO法人

恩おくり